

花の王国あいちのハナシ!!

目次	1
全国一の『花の王国』愛知県	2
県内生産は東三河が中心	3
消費はいまいち・・・愛知県	4
花いっぱい県民運動	5
今月のあいちの花（平成26年4月～）	6
今月のあいちの花（平成26年4月・5月）	7
今月のあいちの花（平成26年6月・7月）	8
今月のあいちの花（平成26年8月・9月）	9
今月のあいちの花（平成26年10月・11月）	10
今月のあいちの花（平成26年12月・平成27年1月）	11
今月のあいちの花（平成27年2月・3月）	12
花を長く楽しむために♪ ～ 切り花編 ～	13
～ 鉢物編 ～	20
花言葉について♪	29

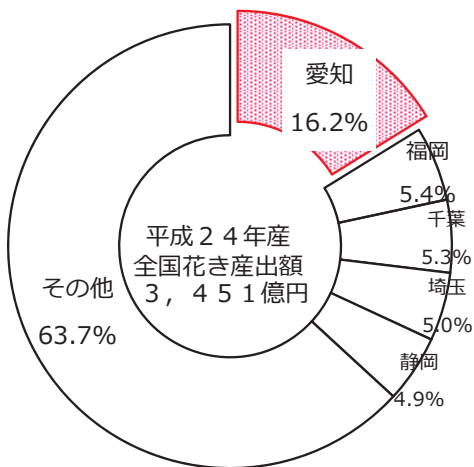


全国一の『花の王国』愛知県

ご存じですか？

愛知県は昭和 37 年以来、51 年間にわたって花の生産額が日本一の「花の王国」なんです😊

愛知県は全国の約 16%の花を生産している、日本一の「花の王国」です😊
2位の福岡県と比べても3倍近く花の生産が多いんです。



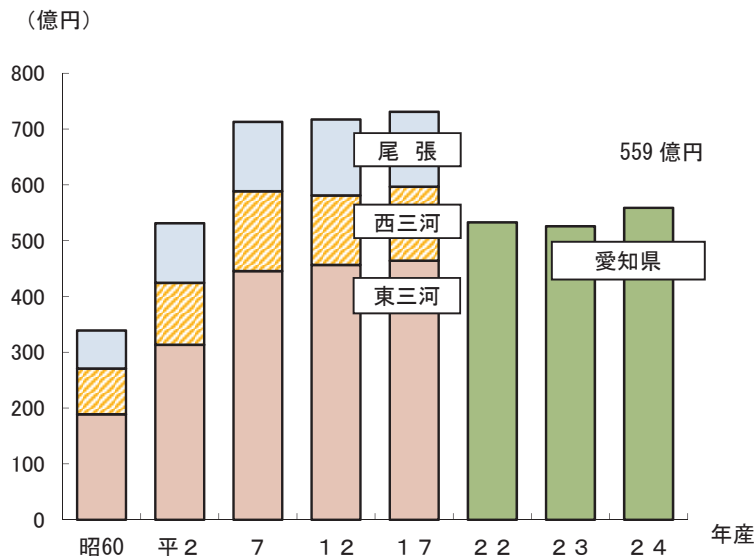
☆ 全国の花き産出額とトップ 5 ☆

(出典：生産農業所得統計)

平成 24 年の本県の産出額は 559 億円 (全国シェア 16.2%) で、昭和 37 年以来全国 1 位です。

県内生産は東三河が中心

👑 平成 24 年産では 559 億円の産出額があり、県内では全域で生産が盛んで、東三河を中心に生産されています。



☆ 愛知県の花き産出額の推移 ☆

(出典：生産農業所得統計)

花きの産出額は昭和 37 年以来全国 1 位ですが、20 年産から急激な減少傾向が続いています。なお、20 年産以降は市町村別の産出額が未公表のため県全体額での表示となっています。

消費はいまいち・・・愛知県

でも、県庁所在地(名古屋市)の花の消費額は全国でも下の方なんです☹

★「切り花」の消費額（都道府県庁所在都市別）

順位	都市(都道府県)	金額
1位	高松市(香川県)	13,436円
2位	京都市(京都府)	12,644円
⋮		
26位	大阪市(大阪府)	8,197円
⋮		
35位	名古屋市(愛知県)	7,629円
36位	都区部(東京都)	7,456円
⋮		
47位	那覇市(沖縄県)	3,540円

★「園芸品・同用品」の消費額（都道府県庁所在都市別）

順位	都市(都道府県)	金額
1位	大分市(大分県)	10,002円
2位	水戸市(茨城県)	9,949円
⋮		
45位	名古屋市(愛知県)	3,880円
46位	都区部(東京都)	3,574円
47位	大阪市(大阪府)	2,507円

(出典：総務省 平成24年家計調査(一世帯あたり))
 「切り花」の年間支出金額は、名古屋市7,629円で都道府県庁所在都市別の順位では全国35位。また、「園芸品・同用品」は全国45位。

花いっぱい県民運動

そこで、県民の皆様の花への関心を一層高めて花の需要拡大を図るために、暮らしの中に花を取り入れる「花いっぱい県民運動」を実施しています😊



今月のあいちの花 (平成26年4月～)

この表の見方

平成25年4月から28年3月まで毎月変わります。	平成26年 ○月
基本的な花の情報を記載しています。	【○月のあいちの花 (花の種類*)】
**花言葉は諸説あります。本誌では一般的に言われている花言葉を掲示しています。	【学名】
	【花の説明】
	【花言葉】 **
	【花の写真】

*花の種類は「切り花」・「鉢花 (主に花を楽しむ鉢物)」・「鉢物 (観葉植物などの鉢物)」・「花壇苗」など鑑賞時や栽培管理の方法などで分けています。

♪ 今月のあいちの花の選定について ♪

- ・ 県内の産出(生産)額が概ね1億円以上ある花の種類。
 - ・ 愛知県が育成した品種がある花の種類。
- などを基準に、その月頃に出荷のピークがある種類を選定しています。
- ・ 平成25年4月から3年間、月ごとに異なった花を選定しています (次ページからは平成26年4月から平成27年3月までを記載)。

平成26年 4月	平成26年 5月
アジサイ (鉢花)	トルコギキョウ (切り花)
ハイドラングシア マクロフィラ <i>Hydrangea macrophylla</i>	ユーストマ グランディフロラム <i>Eustoma grandiflorum</i>
○アジサイ科アジサイ属。落葉低木。 ○花の色がよく変わることから、「七変化 (しちへんげ)」「八仙花 (はっせんか)」と呼ばれることもある。 ○6月から7月にかけて開花し、白、青、紫または赤色の花のように見えるのは萼 (がく) が大きく発達した装飾花である。日本、ヨーロッパ、アメリカなどで観賞用に多くの品種が作出され、広く栽培されている。 ○ヨーロッパで品種改良されたものはセイヨウアジサイと呼ばれる。	○リンドウ科ユーストマ属 (旧学名リシアンサス属) の非耐寒性の多年草もしくは一年草。 ○アメリカ大陸北部・メキシコ北部に自生種がある。日本ではトルコギキョウ、リシアンサス、ユーストマなどと呼ばれる。 ○ユーストマの品種改良の中心は日本で、海外も含めて栽培されている品種の多くが日本産で、その姿や花色の豊富さ、花持ちの良さなどから和洋、冠婚葬祭を問わず幅広い用途に切り花として利用される。
【花言葉】 ○アジサイ：うつろい ○セイヨウアジサイ：移り気 ○花が青色のアジサイ：冷淡・高慢・自信家	【花言葉】 ○優美・希望・よい語らい・清々しい美しさ・永遠の愛



平成26年 6月	平成26年 7月
ブーゲンビレア (鉢花)	アナナス類 (観葉植物)
ブーゲンビレア バットティアナ <i>Bougainvillea × buttiana</i>	- (種類によって異なります)
<p>○オシロイバナ科ブーゲンビレア属に属する熱帯性低木。和名はイカダカズラ (筏葛)。</p> <p>○原産地は中央アメリカ及び南アメリカの熱帯雨林。南アメリカには14種が自生する。</p> <p>○ブーゲンビレアという名前は1768年にブラジルで木を発見したフランス人探検家ブガンヴィユに由来する。</p> <p>○花色は赤から白、ピンクやマゼンタ、紫、橙、黄のものもあるが、本来の花は中央部にある小さな3つの白い部分で、鮮やかな色の花びらに見える部分は花を取り巻く葉 (包葉 (ほうよう)) である。</p>	<p>○アナナスとは本来はパイナップルのこと。しかし、園芸上はパイナップル科の植物 (特に園芸的に鑑賞価値のあるもの) の総称を意味する場合が多い。</p> <p>○アナナス属 (Ananas) の他、グズマニア属 (Guzmania)、エクメア属 (Aechmea)、フリーセア属 (Vriesea) などがある。</p> <p>○花のように見える部分は葉の変化したもの (花苞 (かほう)) で美しい色を示す。</p> <p>○葉の間に水を蓄えるものが多く、エアープランツも近縁の仲間。</p>
【花言葉】 ○あなたは魅力に満ちている・情熱	【花言葉】 ○あなたは私にとって最愛の人です・あなたは完全です



平成26年 8月	平成26年 9月
クルクマ (切り花)	黄輪ギク (切り花)
クルクマ アリスマティフォリア <i>Curcuma alismatifolia</i>	キク <i>Chrysanthemum × grandiflorum</i>
<p>○ショウガ科ウコン属。</p> <p>○クルクマの代表的な品種としては「シャローム」が有名(上記の学名はシャロームのもの)。</p> <p>○原産地は東南アジアでタイの北部やカンボジアなどに分布する。</p> <p>○ショウガやウコンの仲間。花が美しく初夏から花が咲き、日本では主に観賞用として用いられる。切り花の他に鉢物として利用されることもある。</p> <p>○色が美しい部分は苞葉で、その中に本当の花が咲く。</p> <p>○愛知県で育成した品種がある。</p>	<p>○キク科キク属。</p> <p>○日本で観賞用多年草植物として発展した品種群と、欧米で育成されて生まれた品種群が日本に逆輸入されている。</p> <p>○葬儀での使用や、墓などへのお供花として用いられることが多いが、茶花として飾られることもある。また、お正月には松、千両といっしょに、おめでたい花としていけられる。</p> <p>○海外では国によってはお祝いの贈り物に用いられることもある。</p> <p>○愛知県で育成した品種がある。</p>
【花言葉】 ○忍耐・乙女の香り・因縁・あなたの姿に酔いしれる	【花言葉】 ○高貴・高尚・高潔



平成26年 10月	平成26年 11月
コチョウラン (洋らん)	ポットマム (鉢花)
ファレノプシス アフロディーテ <i>Phalaenopsis aphrodite</i>	キク <i>Chrysanthemum × grandiflorum</i>
<p>○ラン科コチョウラン属。一般にコチョウランというときには近縁属との交配種である <i>P. amabilis</i> や <i>P. Doritaenopsis</i> も含む。</p> <p>○東南アジアに分布し、白やピンクの美しい花をつける。</p> <p>○学名は phalaia (蛾) と opsis (似る) という意味を持ち、英語では Moth orchid と(蛾のラン)となるが、花の形を蝶になぞらえた和名は胡蝶蘭としている。</p> <p>○置き場所は、明るい室内で直射日光が当たらない場所が良い。</p>	<p>○キク科キク属。</p> <p>○ポットマムには秋咲き系品種を用い、草丈を低く調整した菊を鉢植えに仕立てたもの。</p> <p>○ポットマムはポット(鉢)とクリサンセマム(キク)を合わせた造語。</p> <p>○花が咲いているうちは明るい室内に置く。</p> <p>○咲き終わった花からはこまめにつみ取る。</p>
<p>【花言葉】</p> <p>○幸福が飛んでくる・変わらぬ愛</p> <p>○花が白色のコチョウラン：清純</p> <p>○花がピンク色のコチョウラン：あなたを愛します</p>	<p>【花言葉】</p> <p>○高潔・高潔なる愛</p>



平成26年 12月	平成27年 1月
ポインセチア (鉢花)	アルストロメリア (切り花)
ユーフォルビア <i>Euphorbia pulcherrima</i>	アルストロメリア <i>Alstromeria spp.</i>
<p>○トウダイグサ科トウダイグサ属。常緑性低木。</p> <p>○原産地は暖かい気候のメキシコ。寒さにはそれほど強くない。</p> <p>○観葉植物として、クリスマスの時期にあわせて短日処理をして、苞葉を紅葉させて緑色の葉色とのコントラストを楽しむ。寒さに弱いため、0℃を下回るような場所に放置すると落葉するため、クリスマス時期の管理は要注意。</p>	<p>○ユリ科(アルストロメリア科に分類することもある)アルストロメリア属。</p> <p>○南アメリカ地方原産。100種近くの野生種が分布する。</p> <p>○5~7月頃、豊富な色あいの花が咲く。多くの種類は花びらにある斑点が特徴である。花持ちがとても長く、切り花としても楽しめる。</p> <p>○アルストロメリアの名前はスウェーデン人の植物学者アルストロメールに由来する。</p>
<p>【花言葉】</p> <p>○祝福する・私の心は燃えている・聖なる願い・清純</p>	<p>【花言葉】</p> <p>○未来への憧れ・エキゾチック・機敏・持続・援助・幸福な日々</p> <p>○白：凛々しさ</p>



平成27年 2月	平成27年 3月
デンドロビウム (洋らん)	カラー (切り花)
デンドロビウム (デンドロビウム) <i>Dendrobium</i>	カラー <i>Zantedeschia aethiopica</i>
○ラン科セッコク属の学名をカナ読みした。セッコク属に分類される植物の総称で。日本においては、セッコクなど数種が知られている。 ○主に原種と近縁種との交配種が観賞用に生産されており、用いた原種を系統名にして、ノビル系、デンファレ系、フォーミディブル系などと呼んでいる。	○サトイモ科オランダカイウ属。 ○南アフリカが分布の中心。 ○仏炎苞 (ぶつえんほう) や葉が美しいものが多く、観葉植物として栽培されるものもあり、以前はサトイモ科カラー (Calla) 属に分類されていたので、その名残で今でもカラーと呼んでいる。 ○南アフリカに 8 種が分布する球根植物。
【花言葉】 ○美人・わがままな美人・天性の華をもつ・真心・思いやり・謹厳実直	【花言葉】 ○素敵な美しさ・清浄・壮大な美・乙女のしとやかさ・夢のように美しい ○色つき：情熱・熱血



花を長く楽しむために♪

～ 切り花編 ～

お花を飾る時の『ひと手間』、それだけで花の『もち』が違ってきます。

○ 花をいける前に・・・

綺麗にラッピングしてある花束やアレンジメントですが、できるだけ早いうちに外しましょう。花や葉も呼吸するので、そのままでは蒸れてしまいます。


○ 水揚げ (みずあげ) の方法

茎の切り口に空気が入ると水を吸収する管 (導管) の通りが悪くなり、花や葉への水の供給が滞ります。そこで切り戻すなどの処理で『水揚げ』をします。水を吸いにくくになったりした花の水を吸う力を回復させることを『水揚げ』といいます。



♪ 具体的な方法 ♪

★水切り・・・花の茎を潰さないように注意！！よく切れるはさみやナイフを使って、水中で茎を2～3cm切ります。飾りたい長さより少し長めに数回切り、そのまま暫く水に浸けたままにします。また、切り口から樹液や乳液などが出る花では、導管が詰まってしまうため、水中で洗い流しながら切るとよいです。
適する花：ほとんどの花

 **ワンポイント！** 茎を刃物で切るときは茎に空気が入らないように注意しながら、傷んだ部分を取り（切り）除きます。

茎を斜めに切ると表面積が大きくなり、花瓶の中で水分吸収をしやすくなります。



Bad 😞

Good!

Best 😊

・茎が腐っているので、切り戻して水を吸う力を回復させます。

・水平に切っても水あげはきちんとします。

・斜めに切ると表面積が増えて、さらによく吸います。

★湯上げ・・・花を紙で包んで根元を10cm程出しておきます。容器の底から2～3cm程熱湯を入れ、花に熱気がかからないようにしながら、切り口を数十秒お湯に浸け、すばやく別の容器の水の中に移して、しばらく置いておきます。

適する花：カスミソウ、ストック、オミナエシやガーベラ等

★水折り・・・水中で根元から数cmのところを手で折ります。刃物で切るよりも切り口がギザギザで表面積が大きくなることにより水を吸い上げやすくなります。
適する花：茎が木のような繊維で丈夫なキク等の花に適します。

★焼く・・・茎の根元数cmを炭化するまで焼きます。炭になったらすぐにバケツの水の中に入れて水をあげさせます。又、バクテリア等の雑菌の繁殖も防ぐことができます。
適する花：バラ、シャクヤク、アスター等、茎が木質や繊維質の花

  水の深さについて 

★深水（ふかみず）・・・花を真っ直ぐに立てて入れ、茎の半分程度以上が水に浸かるように数時間おきます。これは水圧を利用して茎などの表面からも水揚げする方法です。

適する花：バラ、ヒマワリ、シャクヤク、ポタン等

★浅水（あさみず）・・・もともと水を吸収しやすい花は、容器の底から数cmの水であればよいです。
適する花：ガーベラ、チューリップ、カラー、ヒヤシンス等

ワンポイント!

- 毎日のケアに気をつければより長く楽しめます!!

★花の置き場所

直射日光のあたる場所は、水温が上がり花瓶など花器の中の水に細菌が繁殖しやすい状態となります。

又、エアコンの風が直接に当たる場所は乾燥しやすくなります。

そこで、置き場所として、薄いレースのカーテン越しや半日向の窓越しなどに置き、エアコンや暖房器具の影響を受けにくい場所を選ぶと花を長く楽しめます。様子を見て、乾燥しているようであれば時々葉に霧吹きなどをするのも良いです。

★水かえ

夏は毎日、冬でも1～2日おきに水をかえます。水かえの際に花瓶などの花器の内側も良く洗い、内側のぬめりを取ることで、かえた水がバクテリアによって腐敗するのを防ぎやすくなります。

又、市販されている延命剤（殺菌剤が入っているもの）を使うのも便利です。

なお、延命剤を使用した場合、水かえは不要です。

★花がら取り

たくさん花がついているスプレー咲きなどでは、しおれた花がらを取り除くことで長く楽しめます。又、黄ばんだ葉やしおれた葉をこまめに取り除くとよいです。

★切り戻し

水かえと同時に、茎の下の方を数cmほど切って水を吸う切り口を更新します。茎が大きく変色していたり、茎のぬめりがあれば水洗いして、変色部分を切り戻します。

★その他

花を長く楽しむには、市販の延命剤を使うのが便利ですが、家庭にあるものでも充分間に合います。砂糖（栄養）、中性洗剤（水揚げ促進）、漂白剤（殺菌）などを少量・数滴だけ、花瓶などに入れるとバクテリアの繁殖を防いだり、栄養の元となります。

ちょっとだけ入れるのがポイントです。

ワンポイント!

★菌の繁殖を防ぐには、刃物（はさみやナイフ）、花瓶などの道具は綺麗に洗って乾かしておきます。

★花瓶にいける前は水あげをしてから!

★また、例えば、ヒマワリは水揚げで深水が有効だったりしますが、茎の毛の部分が傷みやすいため、水揚げした後の普段の水管理は浅めの方が花の持ちがよいと言われています。

ヒマワリが入った花束を深水で花瓶に生けていると、水が濁るのが早くなり、こまめな水替えが必要となります。

このように花の種類によっては管理方法にちょっとした工夫が必要なものもあるので、お花屋さんなどに聞いてみてください。



ワンポイント!

★お花屋さんから購入した花は十分に水あげしてあるので、少しだけ切り戻して生ければO.K.です。その際、切り口を斜めに切ると表面積が大きくなって水を吸いやすくなります(水揚げを参照)。

★自分で栽培した花などは上記の方法で水揚げをした後に花瓶などに生けて下さい。

★また、柔らかい茎の花は手の熱の影響も受けます。持つときはそっと持ってください(ギュッと握らないで!!)。



お花が弱っていたら

★逆水(さかみず)をかける

葉がたくさんついていたたり葉の面積が広いもの、野草な

どでは、葉から多く水が失われることがあります。このような種類では花が弱りかけたら(ここが重要!完全にしおれてからではムリです!!)、逆さにして、上から葉裏に水をまわしかけます。逆水をかけた後は、軽く湿らせた新聞紙などで全体を軽く包んで涼しい所で1~2時間ほど横に寝かせます。あまり長時間水浸しにすると花がかびる原因になるので注意!

全体に元気が戻ってピンとしたら花瓶に戻します。

★深水(ふかみず)をする

水をたっぷりとためた深めの容器に花材をまっすぐにたてます。水の重さが水圧となることで茎に水を吸わせる方法です。花材を斜めに置くと、茎全体にうまく水圧がかからないので、まっすぐにキープできる容器を選ぶとともに、蒸散を押さえるため暗めで涼しい場所で行います。



～ 鉢花編 ～

鉢物を入手したあとは毎日の管理方法をちょっと工夫するだけです。花を長く楽しむコツがあります。

💡 鉢物の置き場所

★鉢物(鉢花・観葉植物など)の置き場所

以下の基本的な置き場所を参考にしてください。
(○：概ねの種類に適する △：ダメではないが注意が必要 ×：基本的にはこのような置き場所は避けます)

- 室内に置く際は日の差し込む明るい場所に置きましょう。
- 鉢花は観葉植物に比べて、一般的に光を好みます。観葉植物は若干暗くても大丈夫なものが多いです。
- △ 出窓に置くのは気温上昇(特に夏以降)もあり要注意です。こまめな換気や置き場所を替えるなど工夫が必要です。
- × 光が不足すると生育が悪くなり、花も咲かないものが多いです。
- × 午後の光、特に西日が入り込む場所はさけます。
- × クーラーや暖房器具の送風が直接当たる場所は避けましょう。

★冬の鉢物の置き場所

～ 高温に注意 ～

主に冬に流通する種類(ベゴニアやセントポーリアなどは、強い日光を好まず、戸外の明るい日陰や明るい室内を好むものが多いです。

また、シクラメンなどの冬の鉢物では暖房の直接当たる場所や春先などの暖かい日に気温の上昇しやすい出窓に置くのは避けます。



★夏の鉢物の置き場所

～ 日当たりに注意 ～

- 多くの鉢花では、室内よりも日光のよく当たる戸外に置くと花が咲きやすいですが、夏の高温時は風通しのよい明るめの日陰に置くほうが管理しやすいです。
- × また、どの季節でもいえることですが、西日の当たる場所は避けます。さらに、雨や強風にさらされる場所も避けます。
- × 西向き、南向きのベランダは要注意！
ベランダに置く場合、日は当たりますが、強い風の通り道になっていることが多いです。また、夏は日中の温度が上がりやすく、建物が蓄熱するため夜も気温が下がりにくくなるので、注意が必要です。

空気を乾燥させる要因（強風や高温）は、ダニを発生させやすい条件となります。

西向きや南向きのベランダには暑さや乾燥に弱い植物は置かないか、日陰をつくるなど環境を整えてやる必要があります。

東向きのベランダはあまり気を遣わなくても大丈夫です。



💡 水やりの正しい仕方

★水やりをするときの注意点

基本的な水やりの参考にしてください。

(○：概ねの種類に適する △：ダメではないが注意が必要 ×：基本的にはこのような水やりは避ける)

- 鉢土の表面が乾いてからたっぷり水を与えてください(乾ききってからでは遅いので注意!)
- 水をたっぷりかけるのは、水とともに空気を土に送り込む意味もあるので、少量を毎日よりもある程度乾いたらたっぷりとあげた方がよいです。
- △ たっぷり水をかけたあと、鉢から抜けた水を受け皿にたまったままにしておくと根腐れを起こす可能性があります。受け皿の水は捨ててください。
- × 土が乾いていないのに毎日水をかけるのはよくありません。
- × 鉢の表面の土が葉などに飛び跳ねるほど勢いよく水をかけるのはよくありません(土中の雑菌が葉裏に飛び散って病気の原因になる時があります)。

★春から秋の鉢物の水やり

～ たっぷりと ～

植物の生育が旺盛な時期であり、たっぷりめに水をやりましょう。次々と花を咲かせる鉢花では、この期間には毎日でもたっぷり水を与えてもかまいません。

ただし、水やりはできるだけ花に水がかからないように注意してください。

★晩秋から冬の鉢物の水やり

～ 控えめに ～

晩秋以降は植物の生育がゆるやかになるので、水やりの回数を徐々に減らしてゆきます。

また、夜に水をやると夜中に土が凍ってしまい、根を傷めることもあるので、日中の暖かい時間帯にしましょう。

💡 サボテン類や多肉植物は多湿を嫌うので、用土が完全に乾いてからしっかりと水やりをします。

💡 鉢花などの底面給水鉢でずっと管理してきたものは用土に水が多い状況に慣れているため、逆に受け皿の中の水をきらさないように注意をします。



肥料のやりかたについて

★鉢物の生育状況に応じて肥料をやります

～ 生育期はしっかり ～

旺盛な生育をしているものや日当たりのいい場所など良い環境に置かれた植物にはしっかりと肥料をやります。

～ 停滞期や悪い環境では

様子を見ながら ～

生育の緩慢な状態や、暗い場所などのあまり良くない環境に置かれた植物では肥料の与え方は少なめが基本です。

また、通常は冬期には施肥をしますが、一部の寒さに強い植物は、売られている冬の時期に肥料を与えても大丈夫です。ただし、根を傷めないように薄めの液肥などを与えましょう。

ワンポイント！ ～ 肥料に関する言葉 ～

*元肥（もとごえ）

植物を植える時に、土の中にあらかじめ入れておく肥料です。初期生育を助ける目的で与えます。

*置き肥（おきごえ）

鉢の中（縁：ふち）に置く固形の肥料。水やりをするたびにゆっくりと効いていくのが特徴です。

*液肥（えきひ）

液体状の肥料で速効性。薄めて使うものが一般的ですが、薄めずにそのまま使えるタイプも販売されています。

～ 肥料の種類について ～

★液肥（えきひ）は速効性

水やりと同じように、1～2週間に一度の割合で水やりの代わりにします。根から吸収されるので肥料の効果が早く現れます。ただし、濃い肥料を与えると根が傷んでしまうので注意が必要です。容器に書いてあるよりも少しだけ薄めに与えると安全です。

★置き肥（おきごえ：固形肥料）は緩効性（かんこうせい）

観葉植物や洋らんなど、長い期間育てる場合に適します。

置き肥をする時は、鉢の中での肥料の置き場所に注意します。水やりの水とともに肥料分が土に溶け出て根から吸収されます。

高濃度の肥料分は植物にも毒になりますので、肥料は株に近い場所には置かないよう注意します。

肥料は鉢の中で、植物から少し離れた周辺に均等に置き、少し軽く土の中に押さえて半分ほど土中に埋め込みます（土に移行しやすくなることで、根から吸収されやすくなります）。

はなことば 花言葉について♪

～ 花言葉（花詞とも表記される）について知れば
もっとお花が好きになる！？ ～



花言葉の歴史

👑 19世紀頃の西欧社会において「植物の花や実などに象徴的な意味をもたせる」『言葉』が流行しました。

👑 現在使われている花言葉の原型は、ギリシャ神話やローマ神話の題材を元にしたたり、古代から語り継がれている伝説や聖書などのエピソードから生みだされたものが多いようです。

👑 そのため、花言葉の持つ意味は国や地域、民族や宗教といった文化や生活を背景としており、その花の花言葉を話す人々のバックボーン（背景）によって大きな違いがあります。



👑 では、どの花言葉が正解なのでしょう・・・？基本的にはどれも正しいのです。その花のことを話す人々が、それぞれの花に載せたメッセージが花言葉なのです。

👑 花言葉の成り立ちには大きく分けて2つの流れがあります。

①その植物の外観や香り、色などの植物の性質や特徴を象徴する言葉で表すという『観察による方法』。

②西欧社会における『伝統に基づく言葉で表現する方法』。

例えば古代ギリシアの伝統になぞらえて「月桂樹」に「栄光」の花言葉をあて、聖書の記述を引用し「オリーブ」の花言葉は「平和」という意味を持たせています。


日本の花言葉

👑 日本には、明治初期に、西洋文明とともに主にイギリスの花言葉が持ち込まれました。その後、日本独自の花言葉も盛んに提案されるようになりました。

👑 また、園芸産業の広がりとともに、花言葉は花き類の販売促進のためさまざまに活用されています。

👑 日本独自の新品種が開発された際に開発者が花言葉を命名したり、消費者に花言葉を募集したり、販売会社が独自に命名するなどしています。

♪ それでは実際の例を見てみましょう ♪

 バラは西欧世界で多くの人に好まれ重用されてきた花の一つです。そのため伝承や神話が豊富で、それぞれにまつわる花言葉が多く伝えられています。

色の違いのほか「バラの花束」「一輪のみのバラ」といった飾り方や本数、「蕾」や「枯れた花」といった状態によって様々な花言葉が考案されています。

 バラ（赤）

情熱 愛情 あなたを愛します 美
死ぬほど恋い焦がれています 永遠の愛
灼熱の恋 熱烈な恋 など





バラ（白）

心からの尊敬 無邪気 清純 純潔
恋をするには若すぎる 恋の吐息
相思相愛 尊敬 素朴 など



バラ（ピンク）

美しい少女 気品 しとやか 誇り
かわいい人 愛している 感謝
温かい心 など



バラ（青）

神の祝福 奇跡 「夢 かなう」 など
※ 当初はばらには青色の品種が無かった
ため「不可能」などとされていましたが、サ
ントリーが遺伝子導入により開発に成功した際に
「夢 かなう」などが新たに設けられました。



♪ 自分の好きな花について調べてみてはいかがでしょうか ♪

(参考：インターネット上の関連サイト及び書籍などを参考にさせていただきました。)